

立川市民オペラ公演2019
J. シュトラウス II世 作曲 オペレッタ「こうもり」
公演日 平成31年3月16日(土)、17日(日)



へ立川市民オペラ合唱団より

「こうもり」は、6月までに一通り譜読みができました。ゴールデンウィーク中も通常通りの練習スケジュールでした。平日は仕事の都合で遅刻せざるを得ない団員は、かえって祝日は参加しやすいですからね。初めてのドイツ語に苦戦しながらも少しずつ慣れてきました。発音は向上しつつありますが、まだまだ努力が必要です。

7月は言葉を母音だけで歌い、発声に重きを置いた稽古もしました。本番までの時間に余裕ある今だからこそ、基本に戻つての稽古です。立ち稽古開始は11月以降ですが各自暗譜も始めています。また、女性団員は3月の公演までヘアカット禁止を言われており、髪が1カ月に1cm伸びるとして、3月までには8cm程は長くなりそうです。公演では豪華にアレンジした髪にもご注目いただければ嬉しく思います。



2018年8月 発行
立川市民オペラの会
〒190-0022
立川市錦町3-3-20
たましんRISURUホール
(立川市市民会館) 2階
(公財)立川市地域
文化振興財団 内
TEL042-526-1312
FAX042-525-6581

へオペラ愛好会より

国立音楽大学大学院オペラ「ゴジ・ファン・トゥッテ」レクチャーコンサートのお知らせです(本公演 10月20日・21日)。

～レクチャーコンサート～
モーツァルト作曲
ゴジ・ファン・トゥッテ
…恋人たちの愛の行方は…
講師 中村敬一
公演出演者 国立音大大学院生
2018年9月19日(水)
午後6:30開演(6:00開場)
立川市女性総合センター
(アイムホール)
主催 立川オペラ愛好会
問合せ 渡辺(正)090-8842-5852
渡辺(公)042-527-4801

【オペラのいろは】
オペレッタって何？

オペラが音楽中心に作られているのに対して、セリフや踊りが多く取り入れられ、オペラに比べて演劇性が強く要求されます。セリフも時事の流行を反映してアドリブが入ったり、宴会の場面などでは当時の流行歌が挿入されるなど、オペラとは違って自由な演出や演奏が許されるのもオペレッタの特徴なのです。よりリアルで分かりやすく、初めて観る方でも楽しめる作品が多くあります。

オペレッタは世の中がちよっと不景気だったり政情が不安だった時に大流行するというジンクスがあるそうです。まさに今なのでしょうか……？

～今回は「こうもり」の登場人物紹介～

連載「オペラがますます面白くなる！」

しっとくNAVI

- ◆アイゼンシュタイン: 夜会にはルナールとして参加。フランクと意気投合、ロザリンデを口説く。
- ◆ロザリンデ: アイゼンシュタインの妻。夜会では仮面をつけたハンガリーの伯爵夫人としてアイゼンシュタインに口説かれる。
- ◆アルフレード: ロザリンデの元恋人。ロザリンデの浮気容疑回避のためアイゼンシュタインとして刑務所行き。
- ◆アデーレ: ロザリンデの小間使い。夜会では女優オルガとして、ロザリンデのドレスを着用。アイゼンシュタインをからかい、フランクと意気投合。
- ◆ファルケ: アイゼンシュタインの友人。こうもりの仮装で道端に置き去りにされたことへの復讐を目論む。
- ◆フランク: 夜会ではシャグランとして参加。アイゼンシュタイン収監予定の刑務所所長。夜会でアイゼンシュタイン、アデーレと意気投合。
- ◆オルロフスキー: ロシア貴族で夜会を主催。こうもりの復讐をファルケから聞いている。
- ◆プリント: アイゼンシュタインの弁護士。 ◆イーダ: アデーレの姉。 ◆フロッシュ: 看守・語り役。

～そして夜会に参加する紳士淑女。彼らが、歌い、喋り、演技(時には踊り)で、私たちに笑わせてくれます～

H・S

「立川市民オペラ」で検索!

【HP】 <https://tachikawaoperaassociation.jimdo.com/> 【Facebook】 <https://www.facebook.com/tachikawacitizenopera/>
メールでのお問い合わせは opera@tachikawa-chiikibunka.or.jp (事務局)